

ひろしまけん 交通指導員だより

2009. 11
第4号別冊

発行：広島県
環境県民局
交通安全対策室

平成21年11月9日～11日、日本学術会議にて内閣府主催「平成21年度交通安全指導者養成講座」が開催されました。主な内容としては、団体活動について、紙芝居の演じ方、交通安全指導における話し方などの講義のほか、事例発表やグループ討議などを実施されました。

この別冊では、その講座に参加された、**府中町交通安全推進隊 兼本 忠義さん**から報告が届きましたので、ご紹介します。



府中町
交通指導員
兼本氏

広島県から
参加の
皆さんと



交通指導員さんからの活動報告。
質問などを受け付けています。
どしどしご連絡ください！



この講座は毎年実施されていたようですが、私は初めての参加でした。2泊3日の日程で十分な時間でした。

★1日目「事例発表と大学教授の講義」★

塩尻市の女性3名によるぬいぐるみを使ったミュージカルは、私たち高齢者の交通安全ボランティア活動にはない素晴らしさを感じ、北海道2名、栃木県1名の方の発表も素晴らしく、後継者育成の必要を痛感しました。

次に、茨城大学準教授の長谷川幸介氏のお話は、私にとって目から鱗のとれるお話でした。命は大切です。交通安全は命を守ることでありますが、教育や親の責任で規則を守らない子どもがいるが、指導員が根気よく繰り返し指導するしかないことを教わり、私たちはボランティアを続けていくしかないと思わされた気がしました。大変素晴らしいお話で、もう一度お聞きしたいと思いました。

★2日目「事例発表とグループ討議・全体討議」★

警視庁白バイ隊3名の幼児交通安全教育デモンストレーション（警視庁ピーポ君交通安全教室）、事例として、長野県・鳥取県・岡山県・滋賀県・三重県等の発表を聞き、改めて若い女性による幼児教育の必要性を感じました。また、県や市町で腹話術や紙芝居のできる指導者教育の必要性も感じました。

グループ討議では、指導員はボランティア活動をやり続けるしかない、との意見で一致しました。

★3日目「事例発表と『交通安全指導』における効果的な話し方」講義」★

大分県の事例発表ではDVDを頂き、特に中学・高校生向けのスタントマンを使った内容は自転車教育にかけがえないものと思いました。積極的に中学・高校の指導に役立てたいと思います。

話し方では、藤原徳子先生のお話は地方では聞けません。機会があればもう一度聞きたいです。

講義をされた長谷川先生・藤原先生ともに広島にお招きしたい程のいいお話でした。今後も指導員の仲間に参加させ、育てていきたいと思いました。

兼本さんは、この講座を受講したことで、活動を続けていくことに意味があると改めて感じ、さらに後に続く指導員を育てる役目もあると痛感されたようです。

この講座の資料は後日、内閣府ホームページに掲載されますので、興味のある方はご覧になってください。